

浜田小学校

<所在地>

〒510-0962 四日市市北浜田町 13-6

TEL 059 - 359 - 0105

1 読書活動について

(1) 読書活動の推進について

<読み聞かせ>

子どもたちがいろいろな本に出会い、読書への関心を持つきっかけ作りとして、様々な場面で本の読み聞かせを行っている。

低・中学年を中心に、授業で図書室を利用する際に、学校司書に読み聞かせやブックトークをしてもらっている。また、各クラス学期に2～3回ずつ、図書ボランティアによる読み聞かせも行っている。

「図書館まつり」では、図書委員と教師が読み聞かせを行った。図書委員は、担当のクラスを決め、学年に合った本を自分で選び、読み方や絵本の見せ方など、何度も繰り返し練習をして本番に臨んだ。

<図書室のリニューアルオープン>

夏休みに図書室とパソコン室との間のパーティションを撤去し、図書室を元の広さの1.5倍に広げ、机と椅子を配置した。それまでは、低学年の子どもが床に座って本を読む低い机しかなかったが、机のスペースができたことで、高学年が多く本を読みに来るようになったり、調べ学習で図書室を利用することが多くなったり、子どもたちに良い変化が見られた。



(2) 家庭読書の推進

夏休みと冬休みに「おうちで読書」を家庭学習の課題とし、読書の習慣化を図っている。「一人で読んだ」「大人が子どもに読み聞かせた」「子どもが大人

に読み聞かせた」という項目を作り、読んだ方法で色分けをさせることで、保護者も巻き込んで、家庭で本を読む環境を作るきっかけとした。

2 授業での学校図書館の活用

教科書の教材に合わせて、同じ筆者が書いた本などを司書に依頼して集めてもらい、子どもたちに紹介したり、教室に展示したりして自由に手に取ることができるようにした。

1年生道徳「エマさんのこたえあわせ」

→ 外国の暮らしに関する本

国語「のりものカードをつくろう」

→ 乗り物についての本

2年生国語「図書館へ行こう」

→ 本の分類についてのレクチャー

5年生国語「注文の多い料理店」

→ 宮沢賢治の関連図書

3 読書後の1分間コメント等表現活動について

本を紹介したり、お話を聞いた感想を聞き合ったりすることで、いろいろな本に興味を持つとともに、感じたことを伝える表現力を育てることをねらった。本の紹介では、最初は本の題名を紹介するだけだったのが、続けていく中で、ページを開いて見せながら、「こここのこういうところがおもしろいよ」などと、具体的に話せる子が増えてきた。聞いている子どもたちも「おもしろそう。読んでみたい」と、興味を持って聞くことができた。

4 成果と課題、今後の方向性について

イベントをすると、朝から長い行列ができるほどたくさんの子どもが図書室にやってくる。「2冊借りられる券」も本好きの子どもたちには人気で、手に入れるために何度も図書室へ足を運ぶ子がたくさんいる。また、「ブックパズル」や「読書の木」など、クラス全員で取り組むイベントをしたことで、「図書室へ行こう、本を借りよう」と、お互いに声を掛け合う姿も見られた。

一方で、イベントで盛り上げても、期間中、1冊も図書室で本を借りなかった子も少なくない。

今後も、一人でも多くの子が、読書に興味を持ち、自ら本を手にとろうとするようになることを願って、いろいろな仕掛けや、きっかけ作りをしていきたい。